

尾州蟹江本所村

鈴木家文書  
(四)

鳥ヶ地前・西野・西新田

願達・外

目次

序	1
はじめに	3
(一) 「鳥ヶ地前 西野 両新田願達」	5
(二) 西野新田関係	180
(1) 西野新田年数延願並蟹江並置土場御改	
(2) 乍恐奉願上候御事	
(3) 奉願上候御事	
(4) 西野新田	
おわりに	228

## は　じ　め　に

鈴木家文書(四)を刊行するはこびとなりました。

蟹江町歴史民俗資料館へはこれまで既に数多くの資料をご寄贈・ご寄託いただいております鈴木家(現蟹江家)ご当主から、昭和六十一年秋、重ねて貴重な資料をお寄せいただきました。ぎっしりつまった大きい紙函が三個。取り出して机上に並べた時、古文書・冊子・綴・絵地図その他、うづ高く積まれました。おどろきとよろこび、そして感謝の気持で一ぱいでした。

時代は十九世紀後半——そして幕末・明治維新から中頃までにわたり、冊子には小見出しをつけ綴じてないものは縦横に紐をかける等配慮もされておりました。

既刊の文書(一)～(三)との首尾を結ぶべく右の新しい資料を含め、第一に「烏ヶ地前・西野・両新田願達」を執りあげさせていただきました。百六十年程前、鈴木家先祖によって開拓され、伝承されてきた(主として)「烏ヶ地前新田」の、庄屋・組頭から「鈴木家御屋敷」へ宛てたものを通し、村の問題を知る手がかりとしました。第二に西野新田関係から(1)一冊(十七枚綴二ツ折冊子)の小冊子、(2)関連した田畑関係(二枚)、(3)佐屋代官所も関連する内政問題の「西野新田」(二



乃長壽院上公

与新田在屋後之溪山麓云以云夕際  
其地亦雖有仁合寺存是處寺為王寺  
而寺之有仁合寺亦何及也  
後在作付寺下重以續寺能上以石寺能  
上以是山寺流与山下重以以羅有仁合  
寺及以以上